

令和4年4月21日
愛媛大学

愛媛大学新施設 「E.U. Regional Commons」開所式を開催

このたび、愛媛大学城北キャンパス（松山市文京町3）に、教育、研究、地域貢献、国際交流、健康医療などの幅広い分野において、地域のステークホルダーや学生・留学生、教職員などの全ての関係者が出会い交流する場として、新しい施設「E.U. Regional Commons（イー・ユー・リージョナルcommons）」（鉄骨造3階建て）が完成し、運用を開始する運びとなりました。本施設は、本学の第二の正門として「地域」と「愛媛大学」をつなぐ多機能でシンボリックな施設となります。

つきましては、以下のとおり開所式を開催いたしますので、是非、ご取材くださいますようお願い致します。

記

- 日時： 令和4年4月27日（水）14時00分～（受付 13:30～）
- 場所： E.U. Regional Commons 1F 地域交流スクエア（松山市文京町3番）
- 次第： <開所式> 1. 開会
2. 学長挨拶
3. 来賓祝辞
4. 愛称・最優秀作品表彰
5. テープカット及び点灯式
6. 閉会
- <内覧会> 1階 地域交流スクエア
2階 メディアフロント
3階 地域サステナビリティスペース
屋外カフェスペース

※当日の次第に変更が生じる場合があります。

<お願い>

事前に取材の参加者数を把握するため、取材に来られる場合は、4月25日（月）までに電話又はメールにて下記担当までご一報ください。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場ではマスクの着用及び手指消毒等にご協力願います。

※送付資料3枚（本紙を含む）

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学総務部広報課

TEL:089-927-8968/9022

Mail:koho@stu.ehime-u.ac.jp

愛媛大学新施設

「E.U. Regional Commons (イー・ユー・リージョナルcommons)」の概要

- 施設名称:E.U. Regional Commons (イー・ユー・リージョナルcommons)
- 建物概要:鉄骨造3階建て 建築面積:267.56 m² 延べ面積 729.27 m²
- 建設場所:愛媛大学城北キャンパス(松山市文京町3番)



■目的・コンセプト:

愛媛大学は、四国最大の総合大学であり、「地域における知の拠点」として様々な活動を展開しています。組織的には、それぞれの学術領域の教育研究を担う7つの学部と、地域にある大学としての機能を担う4つの機構(教育・学生支援、先端研究・学術推進、社会連携推進、国際連携推進)とによって地方大学の役割を果たしてきました。

E.U. Regional Commons は、教育、研究、地域貢献、国際交流、健康医療などの幅広い分野において、学生・留学生・教職員・地域ステークホルダーなどの全ての関係者が「集い、考え、学び、応える」イノベーション拠点として、以下の活動を展開することとしています。

- ①活発な交流や対話、学びを求める人々が自由に集い、新たな価値や出会いを誘発する開かれた場を企画・展開します。
- ②社会的ニーズの高い情報のみならず正確かつ信頼できる成果に基づき、愛媛大学がもつ知の財産を地域に発信・還元します。
- ③地域課題を解決し Sustainable な社会に向けて、知恵と技術を共有するコミュニティーを創出し、Resilient な活動拠点を形成します。地域との連携を強化・推進します。

これらの活動を通じて本拠点は、多様なパートナーシップのもと、地域との共同プロジェクト・共同研究の推進や地域連携の活性化・強化を図ることで、地域からの揺るがない信頼に応えて参ります。

E.U. Regional Commons は、本学の第二の正門として「地域」と「愛媛大学」をつなぐ多機能でシンボリックな建物となります。

■建物の機能:

1階 地域交流スクエア

- 地域への情報発信の最前線「身近な生活科学情報から先進的な学術研究情報まで」
- オープンスペースとして利用「市民・学生・教職員が自由に集い価値を共創する場」
- イベントスペースとして利用「様々な企画を通して活発な交流と対話を誘発する場」

具体的な機能及び活用シチュエーション:

- ・情報発信の最前線を担う多彩なサイネージ設備(屋内4面ビジョン)
- ・来場者が大学に関する様々な情報を得られるラウンジ
- ・屋内4面ビジョンを活用したオンライン会議やワークショップ
- ・市民、学生、教職員、地域ステークホルダーが集うミーティングスペース
- ・プレスリリース、セレモニー、シンポジウムなどの50名程度までの中規模イベント
- ・大学施設のワンストップでの案内機能

2階 メディアフロント

- 聴衆とのインタラクションが可能なセミオープンスタジオ
- ODXプラットフォーム(撮影・収録・編集など制作および配信・アーカイブの拠点)

具体的な機能及び活用シチュエーション:

- ・デジタル技術を活用した多地点シンポジウムのファシリテーション
- ・セミオープンスタジオを活用した制作過程の公開
- ・インタラクティブなコンテンツ制作(1F参加者、2Fギャラリー)
- ・屋外外壁ビジョンと屋内4面ビジョンへの放映
- ・学生のデジタル技術やネットワーク技術に関する実験・実習の場
- ・アトリウムを通じた1階スペースと2階スタジオ間のインタラクション。

3階 地域サステナビリティスペース

- 地域課題解決のためのコミュニティーを創出し、知恵と技術を共有するコワーキングスペース

具体的な機能及び活用シチュエーション:

- ・多様なライフステージやライフスタイルに応じたりカレントプログラムを実施
- ・愛媛県内の大学生及び大学院生が集う「えひめ学生起業塾」の活動拠点
- ・学内外へのSDGsの推進・普及に関する情報発信基地
- ・地域の様々な課題解決に向けて、共に考え共に行動する地域協働センターの活動拠点